



第4章 第3次ビジョンの推進に向けて





第4章 第3次ビジョンの推進に向けて

次の点に留意し、第3次ビジョンの計画的な推進を図ります。

1. 各主体の役割

第3次ビジョンを推進するためには、商業者等をはじめとして、商工会、商店街等の団体、行政及び市民の協力により、取り組むことが求められます。

ここでは、各主体の担うべき役割について提示します。

① 商業者等（商業者、農業者、工業者等）

- ・ 社会経済環境の変化に応じ、自主的に経営基盤の強化及び経営革新に努めます。
- ・ 地域社会の一員として、商業者は、地域商業の活性化への活動に積極的に関わるとともに、地域団体、市民との協働により、地域の発展に取り組みます。
- ・ その他、農業者、工業者等は、商業者との連携に努めます。

② 商業団体（商工会、富士見市商店会連合会、商店街）

- ・ 各団体が主体となって行う事業について、積極的に推進します。
- ・ 特に商店街については、商業者等、行政との連携を市民との協力のもと、地域商業の活性化を推進します。また、新たな連携の組織づくりを進めます。
- ・ 市全域で取り組むべき事業について推進します。
- ・ 市全域あるいは各地域などで取り組む事業について、主体となって推進します。
- ・ 経営診断や経営相談、融資等でサポートできる専門家集団として、個店の魅力アップを応援します。

③ 市民等（市民、市民活動団体、学校・園、大学）

- ・ 消費行動やイベント等への参加・参画等を通じて、商業活性化と地域づくり、市内消費の拡大に携わることを期待します。

④ 行政（市・国・県）

<市の役割>

- ・ 商業活性化ビジョンの進捗状況に係る全体の把握と各種団体との調整を図ります。
- ・ アクションプランを促進するための支援メニューを創設します。
- ・ 商業担当課だけでなく、庁内関係各課との調整・連携を図り、市全体として商業活性化に取り組む体制を整えます。
- ・ 国、県との連携に努めます。

<国、県の役割>

- ・ 市との役割分担の下、連携しての支援を行います。

2. 第3次ビジョン推進のための体制づくり

第3次ビジョンを推進するためには、各アクションプランの「中心的な事業主体」が積極的に取り組むことが重要ですが、併せて、それぞれの主体が連携、協力し、市全体で一丸となってそれぞれの取り組みを理解し、相乗効果を発揮するよう努めるとともに、進捗管理を進めていく必要があります。

そこで、次の体制を整えます。

○ 定期的な商業者懇談会の開催

市全体の商業活性化に向けて、各主体が協力・連携していくために、定期的に商業者懇談会を開催します。

商業者懇談会では各主体相互の情報の共有や情報発信を行う等、協働で取り組むための検討を定期的にすすめながら、商業振興の中心となる組織づくりを進めます。

3. アクションプラン推進支援に向けて

富士見市は、産業の振興に資するための財源として、「富士見市産業振興基金」を設置しています。

現行の支援メニューに加え、各主体の取り組み意向などを積極的に聞きながら、更なる支援メニューの拡充に努めます。

また、活用事例を紹介するなど、商業者等のPRと併せ、市内産業全体の認知度向上を目指します。